

## 令和3年度労働災害防止協議会の概要

津軽森林管理署

国有林野事業における発注者の立場から、林業事業者等の労働災害の未然防止、安全意識の高揚を図るため、労働基準監督署等関係機関との連携を強化し、実演を交えた労働災害防止協議会を実施しました。

併せて、採材技術向上により丸太の有利採材と付加価値を高めることを目的として採材の検討を行いました。

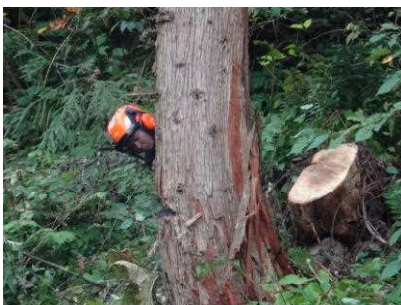
1. 主催 津軽森林管理署
2. 共催 弘前労働基準監督署、林業・木材製造業労働災害防止協会青森県支部
3. 日時 令和3年9月30日(木) 10時00分～12時00分
4. 場所 大鰐町 三ツ目内国有林507林班内
5. 参集者 国の機関 : 13人 (青森事務所2人、津軽署8人、労働基準監督署3人)  
民有林関係 : 29人 合計 42人  
( 県民局 3人、林業事業者 20人、森林組合 2人、森組連合会 2人、  
青森県木材協同組合 1人、林災防 1人)



津軽森林管理署長挨拶  
(写真左)



弘前労働基準監督署長挨拶  
(写真中央)



チェーンソーによる伐倒の様子



プロセッサによる造材の様子



(青森ヒバ) 有利採材指導の様子 (広葉樹)